

# 介護保険料を抑えつつ

## 施設入所待機状況を改善へ

第5期シルバープランを策定するにあたり、市では、介護保険料の上昇を極力抑えながら、特別養護老人ホームの入所待機状況の改善に向けた施設整備を進めていきます。

**高齢化が進み3年後には4人に1人が65歳以上に**

今年（平成24年）から「団塊の世代（1947年～1949年生まれの世代）」が65歳に達し始め、3年後には、市民の4人に1人が65歳以上となり、急速に高齢化が進んでいくことが予想されます。

4月に改定された介護保険料も、県内54市町村のうち9割の自治体で値上げとなり、毎月の値上げ額は平均708円で、県内の平均月額が、4423円になりました。

**施設整備を進めながら保険料の上昇を500円以内に**

野田市でも高齢者人口の増加にともなう要介護者の増加により、介護サービス

の利用が増え、平成18年度と22年度の介護保険給付費を比較すると33.5%の大幅増になっています。

今後3年間の65歳以上の保険料は、国が示した軽減策を導入しても現行の基準月額3600円を大きく上回る4400円を超えることが見込まれました。

しかし、昨今の経済状況を考慮し、市民の負担を少しでも低く抑えるため、「介護保険給付費準備基金」を取り崩すことをシルバープラン推進等委員会で決定いただきました。24年度から3年間の介護保険料の基準月額が、現行からの上昇分を492円に抑えた月額4092円としました。

また、被保険者の負担能力に応じた所得階層を現行の8段階から11段階へ細分化し、さらにきめ細やかな保険料を設定しています。

### 高齢化率の上昇と認定者数の増加

我が国では総人口に占める65歳以上の人口の割合が過去最高の23.0%（平成22年10月）となっており、急速な高齢化が進んでいます。野田市でも65歳以上の高齢者人口が年々増加しており、高齢化率は平成23年3月31日時点で市民総人口157,033人に対して34,188人で21.8%、また、介護の必要な方や認知症などの要介護認定者も4,940人、14.5%となっています。

#### ■野田市 高齢者等の年齢構成

（単位：人）

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
高齢者人口(65歳以上)	28,661	30,148	31,913	33,417	34,188	36,309
高齢化率	18.5%	19.3%	20.3%	21.3%	21.8%	23.1%
65～74歳	17,345	18,202	19,316	20,166	20,281	21,537
構成比率	11.2%	11.7%	12.3%	12.8%	12.9%	13.7%
75歳以上	11,316	11,946	12,597	13,251	13,907	14,772
構成比率	7.3%	7.7%	8.0%	8.4%	8.9%	9.4%
40～64歳	55,521	55,309	54,808	54,556	54,750	54,100
構成比率	35.9%	35.4%	34.9%	34.7%	34.9%	34.4%
総人口	154,630	156,083	156,876	157,183	157,033	157,244

※平成23年度は推計値・各年度3月31日の数値・小数点2位以下四捨五入

#### 野田市将来人口の推計

・平成22年度（H23.3.31）

市民総人口	157,033人
高齢者人口	34,188人
高齢化率	21.8%

↓

・平成26年度（H27.3.31）

市民総人口	157,764人
高齢者人口	43,481人
高齢化率	27.6%

#### ■野田市 要介護等認定者数の推計（各年度3月31日の数値）

